

第3学年 国語科学習指導案

平成30年7月11日（水）3校時
3年教室 高橋 綾香

1. 単元名 書き手のくふうを考えよう「ほけんだより」を読みくらべよう

2. 単元の目標

二つの「ほけんだより」を読み比べ、それぞれの事柄の取り上げ方や、説明の仕方の工夫を読み取ることができる。

3. 学級の実態

本学級の児童は、QUテストの結果から学級への満足度や友達関係に満足している児童は多い。NRTの学力偏差値は、全国平均を上回っている。

叙述を基に読み取ることには力を入れているが、読み取りの力には大きく差がある。「話したい!」という気持ちがあふれるクラスであり、グループで話し合いをして意見をまとめる形式を取り入れている。

4. 学習指導計画 (総時数 8時間)

時	主な学習計画 (本時 5/8)
1	学習の見通しを立てる。
2	1つ目の文章に書かれている事柄を読み取る。
3・4	2つ目の文章に書かれている事柄を読み取る。
5(本時)	2つの文章を読み比べ、書き手の意図に応じた表現の工夫を読み取る。
6~7	自分なら2つの文章のどちらを「ほけんだより」にしたいかを考える。
8	2つの文章を読み比べ、取り上げている事柄の違いや、説明の仕方の工夫を読み取ることができたかどうか振り返る。

5. 研究主題を受けて

(1) つけたい力

- ・事柄の取り上げ方や説明の仕方の工夫を読み取る力

(2) 主体的・対話的・深い学びの実現に向けて

○主体的な学びのために

1時目の導入で作成した学習の展開計画を確認して、本時の見通しを持つ。

○対話的な学びのために

考えを早く書き終えた児童同士で考えを交流する時間を設ける。そこで友達の意見を自分のプリントに付け足しながら、ワークシートを完成させていく。

○深い学びのために

1人のワークシートを投影機で写し、全体での話し合いでワークシートを完成させていく。その際に教師のコーディネートとして、机間指導の際に意図的指名ができるようにしておく。

6. 本時の目標と評価

【目標】○二つの文章の相違点を確認し、書き手が伝えたいことを読み取ることができる。 [読むこと]

【評価】○二つの文章の相違点を読み取り、書き手の伝えたいことを理解している。 [ワークシート・発言]

7. 本時の研究の視点と手立て

視点1 主体的に学ぶための『学びのプラン』

① 本時の流れ提示・児童とのめあて設定

本時の流れを見通せるように、学習の流れを簡潔に説明する。

視点2 対話的に学ぶための『学びのスタイル』

② 子ども同士の交流

自分の意見を書き終わった児童は教室の後ろで友達と交流し、良いと思った考えを書き加えていくようにする。担任はその交流を支援しつつ、悩んでいる児童にはその時間に担任が指導をする。

視点3 深い学びのための『学びのコーディネート』

③ 机間指導の際に発表させたい子どもを選ぶ

大事な気づきをした児童については赤線を引き、取り上げていくようにする。また、B児のワークシート（完全なものではない）を投影機で黒板に映し、全体での発言を書き加えてワークシートを完成させるようにする。

8. 本時の展開 (5/8) (・指導→点線 ・学び→二重線 ・留意点→※ ・評価→★)

④ 全体での話し合いでワークシートを完成させる。(20分)
 B児のワークシートを投影機で写し、書かれている事柄を確かめる。
 T「他に気づいたことのつけたしはありませんか？」
 ※2,3名指名した後、机間指導で見つけた児童を意図的指名する。
 ※発表されたことを教師が書き込む。児童は書き込まない。

① 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。(5分)
 T「前の時間に、二つの文章にそれぞれどんなことがら書いてあるか確認しましたね。今日は二つの文章を比べてちがうところを見つけよう。」

2つ目の文章	1つ目の文章	④ ちがうところを見つけよう。 二つのほけんだよりをくらべて、	※B児のワークシートを投影機で映す
--------	--------	---------------------------------------	-------------------

② 各自ワークシートにまとめる(10分)
 T「前の時間に確認したことを振り返りながら、ちがいをワークシートにまとめましょう。」
 ※読み比べる時に気をつける事柄を掲示しておく。
 ア書いてある事柄(内容)
 イ説明の仕方(工夫)
 ウ読んだ人が思うこと

⑤ 学習を振り返り、本時の感想をノートにまとめる。(5分)
 T「本時の学習を振り返って、国語日記を書きましょう。」
 ※「二つのほけんだよりをくらべると」の書き出しで書く。
 ⑥ 次時の学習について知る。
 T「次の時間は2つの文章、どちらを保健便りにしたいか自分の考えをまとめます。」

読んだ人が思うこと	せつ明の仕方	書いてあることがら	〇二つの文章のちがいを 書き手がつたえたいこと	ほけんだよりを読みくらべよう(名前) 書き手がつたえたいこと
			1つ目の文章	
			2つ目の文章	

③ 早く終わった児童同士で交流(5分)
 T「まとめ終わったら、教室の後ろで友達と考えを伝え合いましょう。」
 ※いいところは写して書くよう話す。
 ※書くことに悩んでいる児童を黒板前に集めて指導する。
 ★ 2つの文章の違うところ読み取っている。(話し合い)